

コートジボワール国アビジャン自治区市場商人の過体重・肥満の実態と認識

Prevalence of overweight and obesity and perception of body weight among merchants in Abidjan, Côte d'Ivoire

○碓井瑠衣¹, 青盛真紀¹ 金森将吾² 渡部節子¹

Rui Usui, Maki Aomori, Shogo Kanamori, Setsuko Watabe

1 横浜市立大学, 2 東京大学

Yokohama City University, Tokyo University

【背景と目的】

西アフリカに位置するコートジボワール国では全死亡の37%を非感染性疾患が占めると同時に、その要因の一つでもある肥満の割合は増加傾向にある。

過体重や肥満の予防・治療として、自身の体重が痩せ、普通または過体重等の状態であるかを認識することが必要であるが、コートジボワール国においては関連する調査は行われておらず、その実態は不明である。

アフリカの市場商人は、過体重のリスクが高いことが他国の研究で明らかになっている。コートジボワール国では働く女性の約半分は商人であり低中所得層の一般的な職業ともいえ、商人を対象とした研究結果の裨益は大きい。

本研究では、コートジボワール国の市場で働く商人の過体重予防策の検討をめざし、過体重の実態、および体重認識を明らかにすることを目的とする。

【方法】

研究デザイン：横断研究

用語の定義：過体重は $30 > \text{BMI} \geq 25$ 、肥満は $\text{BMI} \geq 30$ (CDC 2021) とし、 $\text{BMI} \geq 25$ を指す場合は、過体重・肥満と記す。

対象：コートジボワール国アビジャン自治区のアノノ市場で区画を使用する18歳以上の商人 750人

調査期間：2020年12月-2021年3月

データ収集方法：市場の区画番号を使用しランダムサンプリングを行い、抽出された区画を使用する商人を対象とした。構造化質問用紙を用いて、対象者の属性や、体重認識等について伝言で面接調査を行った。同時に体重・身長、体脂肪率を測定した。体重認識については、「痩せ、普通、過体重、肥満」から自身が当てはまると思うものを選択してもらった。

分析方法：分析にはSPSS Ver. 25を使用し、男女別の年齢、BMI値、BMI判定について集計した。BMI値は男女別の差についてMann-Whitney検定を行った。体重認識と身体測定値から得られたBMI判定との一致度（信頼性）はカッパ係数を求めた。

倫理的配慮：本研究は横浜市立大学の倫理委員会の承認を得て実施した（許可番号A200300003）。

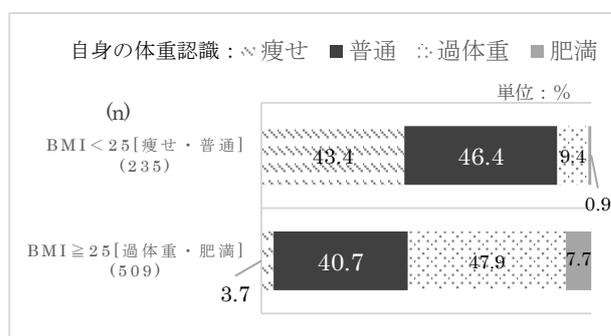
【結果】

収集したうち744人分のデータが分析対象となった。対象者の年齢の中央値は男性31.0歳、女性38.0歳であった。BMI値の中央値は男性23.0、女性27.8で有意差が見られた ($p < 0.01$)。BMI判定の分布は、過体重は男性27.3%、女性45.4%、肥満は男性0.9%、女性30.0%であった。BMI ≥ 25 の割合は男性28.2%、女性75.4%であった（表1）。

表1. 男女別のBMI値、BMI判定分布、BMI ≥ 25 の割合

	男性 (n)	女性 (n)
年齢 中央値	31.0 (110)	38.0 (634)
BMI 値 中央値	23.0 (110)	27.8 (634)
BMI 判定		
痩せ $18.5 > \text{BMI}$	10.9% (12)	3.0% (19)
普通 $25 > \text{BMI} \geq 18.5$	60.9% (67)	21.6% (137)
過体重 $30 > \text{BMI} \geq 25$	27.3% (30)	45.4% (288)
肥満 $\text{BMI} \geq 30$	0.9% (1)	30.0% (190)
過体重・肥満 $\text{BMI} \geq 25$	28.2% (31)	75.4% (478)

体重認識については、BMI < 25 の者が過体重または肥満と認識している割合はそれぞれ9.4%、0.9%だった。BMI ≥ 25 の者が、自身を痩せまたは普通と認識している割合はそれぞれ3.7%、40.7%であった（図1）。

図1: BMI < 25 と BMI ≥ 25 の体重認識の分布

BMI判定と体重認識との一致度について、カッパ係数は男性0.22、女性0.09、全体0.13で有意であった ($p < 0.01$)。

【考察】

本研究では対象市場の商人において、女性は75.4%が過体重・肥満であり、自身の体重を正しく認識できていないことが明らかになった。また過体重・肥満者の40.7%が自身を普通体重であると認識していた。このことから市場商人を対象とした肥満予防策を検討する際には、女性を中心に自身の体重を正しく認識するための取り組みも必要であることが示唆された。

【利益相反】

本研究において開示すべき利益相反はない。

【引用文献】

Centers for Disease Control and Prevention. 2021. 'Defining Adult Overweight&Obesity', Accessed 29, July. <https://www.cdc.gov/obesity/adult/defining.html>.